

カトリック河原町教会だより

2025年5・6月

教皇レオ十四世 5月25日の「アレルヤの祈り」でのことば教皇メッセージ(抜粋)

親愛なる兄弟姉妹の皆様。こんにちは。

皆様のただ中で、なおわたしの奉仕職は始まったばかりです。何よりもまず、皆様が示してくださった愛情に感謝したいと思います。そして、祈りと寄り添いをもってわたしを支えてくださるよう皆様にお願いします。

日々の生活においてであれ、信仰の歩みにおいてであれ、主がわたしたちを招かれるあらゆるときに、わたしたちは時として自分がふさわしくないと感じます。しかし、まさに今日の主日の福音(ヨハ 14・23-29 参照)は、わたしたちにいいいます。自分の力ではなく、わたしたちを選ばれた主の憐れみに目を向けなさい。そして、わたしたちを導き、すべてのことをわたしたちに教えてくださる聖霊に信頼しなさいと。

師である方が亡くなった晩、使徒たちはうろたえ、不安を抱き、どのようにして神の国を受け継ぎ、あかしすることができるのかと、自らに問いかけていました。その時イエスは、聖霊のたまものについて、次のような驚くべき約束をもって知らせました。「わたしを愛する人は、わたしの言葉を守る。わたしの父はその人を愛され、父とわたしとはその人のところに行き、一緒に住む」(23 節)。

こうしてイエスは弟子たちをあらゆる不安と心配から解放し、彼らにこういうことができました。「心を騒がせるな。おびえるな」(27 節)。実際、わたしたちがイエスの愛にとどまるなら、イエスはわたしたちとともに住み、わたしたちの人生は神の神殿となります。イエスの愛はわたしたちを照らし、わたしたちが他者のために手を差し伸べ、わたしたちの生活のあらゆる状況を輝かすまでに、わたしたちの考え方と決断のしかたに場所を作ってくださいます。

兄弟姉妹の皆様。このように神がわたしたちのうちに住むことが、聖霊のたまものです。

聖霊はわたしたちの手をとり、日常生活の中でも、神の現存と近さを体験させてくださいます。神はわたしたちを住まいとなさるからです。なんとすばらしいことでしょうか。わたしが弱くても、主はわたしの人間性を恥じることがない。それどころか、主はわたしのうちに住んでくださる。主はご自身の霊をもってわたしに同伴される。主はわたしを照らし、わたしを、他者と社会と世界に対するご自身の愛の道具としてくださる。

愛する皆様。この約束を基盤として、信仰の喜びのうちに歩み、主の聖なる神殿となろうではありませんか。

あらゆるところに主の愛をもたらそうと努めようではありませんか。すべての兄弟姉妹が神の住まいであること、神の現存は、とくにもっとも小さな者、貧しい者、苦しむ者のうちに示されることを思い起こそうではありませんか。これらの人々は、わたしたちが注意深く憐れみ深いキリスト信者であることを願っています。



そして、わたしたち皆を至聖なるマリアの執り成しにゆだねようではありませんか。マリアは聖霊のわざにより、「神にささげられた住まい」となりました。マリアとともに、わたしたちも、主を受け入れ、主の愛のしるしまだ道具となることができるのです。

「キリストの平和」

洛東ブロック担当司祭 一場 修

使徒言行録15章は、最初の教会会議について伝えています。この会議で、聖霊の導きに従って、皆がともに歩んでいくためには、何が大切なことかが話し合われました。そして、「聖霊とわたしたちは、次の必要な事柄以外、一切あなたがたに重荷を負わせないことを決めました」(28節)という結論に達しました。

本当に大切なことを皆で守り、互いの生き方を尊重しながら、自由に生きていく。これこそ、主イエスが与えておられる平和なのです。そして、この平和が守られるために、主の平和が続いていくために、私たちは、何が大切かを確認し合う場、語り合い、聞き合う集まりを持ち続けなければならないのではないのでしょうか。決まっていることだから、今まで続いてきたことだからという理由で、話し合いをしようとしなくていい時、主の平和が失われていくのではないのでしょうか。変わる必要がある時に変わろうとしないことは、主の平和を恐れ、受け入れないことではないのでしょうか。主の平和ではなく、現状維持という平和に逃避することになるのではないのでしょうか。

主の平和は、十字架上で死んで、復活された主の平和です。変わるという苦しみを経て、新たに生きるようになるという平和です。この平和を分かち合うために、私たち教会は、この世界の中で生きています。

教皇フランシスコが帰天されました。

永遠の安息をお祈りいたします。



Franciscus



教皇フランシスコ

ホルヘ マリオ ベルゴリオ
JORGE MARIO BERGOGLIO

1936. 12. 17 ブエノスアイレス生まれ
1958. 3. 11 イエズ会入会
1969. 12. 13 司祭叙階
1992. 6. 27 ブエノスアイレス補佐司教叙階
1997. 6. 3 ブエノスアイレス協働大司教に任命
1998. 2. 28 ブエノスアイレス大司教着座
2001. 2. 21 枢機卿に任命
2013. 3. 13 第266代教皇に選出され
フランシスコを名乗る
2025. 4. 21 帰天

Produced by Kyoto Diocese

聖年の巡礼者用のスタンプ
が出来上がりました。



京都南部地区合同堅信式ミサ

6月1日 14:00 から大塚司教様、一場神父様、鶴山神父様、ホルヘ神父様の司式により京都南部地区合同堅信式が執り行われ、河原町教会からは3名が受堅しました。



聖週間と復活祭の記録



聖香油ミサ



主の晩さん



主の受難



復活徹夜祭

子ども初聖体の様子

4月27日 10:30 から一場神父様の司式で初聖体のミサが執り行われ、2 名が初聖体を頂きました。



4/20 復活祭

4月21日から一場神父様が京丹ブロックからソ神父様が滋賀ブロックから移動により、洛東ブロックへ着任されました。



一場 修神父様



ソ・ウォンハ神父様

2025 年 6 月～8 月までの主な予定◇(予定は変更になる場合があります)◇

月	日	曜日	行 事 予 定
6	8	日	聖霊降臨の主日 チェジュ教区交流 20 周年感謝ミサ 10:30 と交流会
	15	日	三位一体の主日(年間第 11 週)
	22	日	キリストの聖体(年間第 12 週)
	27	金	イエスのみ心
	29	日	聖ペトロ 聖パウロ使徒[年間第 13 主日] パウロ 大塚司教様・ペトロ ソ・ウォンハ神父様 霊名のお祝い 10:30 ミサ 聖ペトロ使徒座への献金
7	1	火	福者ペトロ岐部司祭と 187 殉教者
	6	日	[年間第 14 主日]
	13	日	[年間第 15 主日]
	20	日	[年間第 16 主日]
	26	土	Sr.テッシー霊名のお祝い 18:30 集会祭儀
	27	日	[年間第 17 主日]
8	3	日	[年間第 18 主日]
	6	水	主の変容 日本カトリック平和旬間(～15 日)
	7-9	木-土	土曜学校錬成会
	9	土	平和旬間行事 正平協「戦争と平和写真展」
	10	日	[年間第 19 主日] 平和旬間行事 正平協「戦争と平和写真展」
	15	金	聖母の被昇天ミサ 7:00、10:30
	17	日	[年間第 20 主日]
	24	日	[年間第 21 主日]
	31	日	[年間第 22 主日]



主日ミサ(集会祭儀)の時間

土曜日 18:30

日曜日 7:00、10:30、
12:00(英語・第 2 第 4 のみ)

週日ミサの時間

水曜日 9:30

木曜日 10:00(聖年の為)

金曜日 10:30

最新の情報はウェブサイト参照

講座の時間(休講の日もあり)

キリスト教入門講座(キリスト教に関心がある人、洗礼を考えている人向け)

キリスト教入門講座

金曜日 19:00(一場神父)

「聖書」

キリスト教入門講座

土曜日 11:00(一場神父)

「キリスト教とは何か」

キリスト教入門講座

土曜日 16:00(Sr.テッシーのチーム)「ここにひかりを」

養成講座(信徒・一般向け)

※原則として毎週

読書会

水曜日 10:00(ソ神父)

聖書通読会

木曜日 11:00(一場神父)

聖書を順番に輪読する集い

聖書の集い

金曜日 11:00(Sr.テッシー)

祈りの集い

聖体顕示式

第 3 土曜日 15:15(ソ神父)

祈りの分かち合い

日曜日 9:45(Sr.小川)

初めて参加ご希望の方は事務室へお問い合わせください。

カトリック河原町教会だより 2025.5・6 カトリック河原町教会広報部発行

〒604-8006 京都市中京区河原町三条上る下丸屋町423 発行責任者:洛東ブロック司牧チーム

TEL:075-231-4785 FAX:075-211-8021

URL:<http://CatholicKawaramachi.Kyoto>